

2024（令和6）年度定時社員総会議事録

日時：2024（令和6）年3月22日（土）13：20～14：20

会場：那覇文化劇場なは一と 大劇場（A会場）

開会の辞

仲嶋常務理事より、事前に寄せられた書面評決状の総数278通（出席予定者86名、欠席予定者125名：第1、2、4～8号議案について賛成204反対1、第3号議案について賛成203反対2、第9号議案について賛成204反対0。同賛否欄未記載0）、委任状なしでの総会出席者4名により総数274名であり、代議員総数278名の過半数（140名）を上回ることから、定款30条の定足数を満たし、社員総会が正式に成立することが報告された。

議長選出

仲嶋常務理事より、定款33条に基づき、理事会において第129回全国学術集会会頭である高山千利氏を議長に選出したことが報告された。

I. 議事録署名人の選任

仲嶋常務理事より、定款34条に基づき議事録署名人として監事の八木沼洋行氏（福島県立医大）と、渡辺雅彦氏（北海道大）が推薦され、承認された。

II. 理事長報告

寺田理事長より解剖学会の現状と今後について報告があった。学術集会や学会誌の充実化、国内外の関連学会との交流、若手研究者の奨励等の学術活動方針は不変であり、特に生理学会・薬理学会との初めての3学会合同大会開催予定、韓国解剖学会との交流強化等の国際交流深化につき報告があった。更に解剖学研究と教育を支える教員、技術職員、献体制度への支援と、変化する周辺環境への対応として、解剖体献体ご遺体の不適切な取扱い事案への対応、献体されたご遺体による外科手術手技研修の要請増への対応方針につき説明があった。

III. 報告事項

以下1～8について、仲嶋常務理事より資料に基づき報告された。

1. 会員状況

2023（令和5）年12月31日現在の会員状況は、正会員1,831名、名誉会員35名、永年会員178名、賛助会員19名、団体会員39名、寄贈会員24名である。（他、休会中の会員8名）

2. 物故会員

氏名	逝去日	会員種別	備考
ふじもと すなお 藤本 淳	R 4.12.25	永年会員	産業医科大学・名誉教授
せりざわ まさお 芹澤 雅夫	R 5. 2.19	永年会員	獨協医科大学・名誉教授
なかの かつま 中野 勝磨	R 5. 5.23	永年会員	三重大学・名誉教授
かち たかし 加地 隆	R 5. 5.26	永年会員	弘前大学・名誉教授
やまだ えいち 山田 英智	R 5. 6.16	名誉会員	東京大学・名誉教授
あおやま ひろひこ 青山 裕彦	R 5. 6.27	永年会員	広島大学・名誉教授
さの ゆたか 佐野 豊	R 5. 7.23	名誉会員	京都府立医科大学・名誉教授
さかもとゆうじろう 坂本裕次郎	R 5. 8. 5	正会員	東京医科歯科大学・講師
くりすこうじろう 栗栖浩二郎	R 5. 9.23	永年会員	大阪大学・名誉教授
たかはし あきら 高橋 暁	R 6. 2.17	名誉会員	福井大学・元教授

3. 教授就任による新代議員

氏名	教授就任日	所属
----	-------	----

ながいし かんな 永石 歓和	R 5. 6. 1	札幌医大・解剖 2
いのうえ こういち 井上 浩一	R 5. 8. 1	奈良医大・解剖 1
たかむら けいこ 高村 敬子	R 5.10. 1	長崎大・医・肉眼解剖学
あまの か おり 天野カオリ	R 5.12. 1	神奈川歯大・解剖学
てらい けんた 寺井 健太	R 5.12. 1	徳島大・顕微解剖学

4. 理事欠員補充について

資料に基づき、中部支部選出の木山博資理事、中国・四国支部選出の篠田晃^{こう}理事より、令和6(2024)年3月31日付での理事退任の申出がなされたことから、定款第23条2項、ならびに役員選出細則第5条の各規定により、宮田卓樹代議員(中部支部)、海藤俊行代議員(中国・四国支部)が4月1日で理事就任予定であることが報告された。

5. 解剖学教育に関するアンケート調査について

資料に基づき、2023(令和5)年2月から3月にかけて、教育委員会が主体となって解剖学教育に関するアンケート調査を実施し、同年6月7日に学会ホームページ内「会員専用ページ」に分析結果の速報を掲載したことが報告された。

6. ご遺体を用いた人体構造に関する研究および手術手技研修に関する倫理審査等の手続きに関するアンケートについて

資料に基づき、2023(令和5)年9月から10月にかけて、倫理/利益相反委員会が主体となってご遺体を用いた人体構造に関する研究および手術手技研修に関する倫理審査等の手続きに関するアンケートを実施したこと、さらに、集計結果を解剖学雑誌にて公開予定であることが報告された。

7. その他

特になし。

IV.審議事項

1. 新名誉会員の件

資料に基づき、仲嶋常務理事より以下の2名が名誉会員として推薦され、承認された(敬称略)。

氏 名	経 歴 等	備 考
さとう よういち 佐藤 洋一	第115回会頭/岩手医科大学	名誉会員推薦規約(2)
ふじくら よしひさ 藤倉 義久	第113回会頭/大分大学	名誉会員推薦規約(2)

2. 新永年会員の件

資料に基づき、仲嶋常務理事より以下の11名が永年会員として推薦され、承認された(五十音順、敬称略)。

氏 名	所 属 (職名は申請時点)	備 考
あきもと よしひろ 秋元 義弘	杏林大・医・顕微解剖学(教授)	永年会員推薦規約(1)
おざわ ひとし 小澤 一史	佛教大・保健医療技術(教授)	永年会員推薦規約(1)
きやま ひろし 木山 博資	名古屋大・医・機能組織学(解剖2)(教授)	永年会員推薦規約(1)
さきの やすゆき 笹野 泰之	東北大・歯・顎口腔組織発生学(教授)	永年会員推薦規約(1)
さとう ふみ 佐藤 二美	東邦大・医・解剖学・生体構造学(教授)	永年会員推薦規約(1)
しのだ こう 篠田 晃	山口大・医・神経解剖学(教授)	永年会員推薦規約(1)
すざき えつこ 洲崎 悦子	就実大・薬・人体構成学(教授)	永年会員推薦規約(1)
たかみ しげる 高見 茂	酒井電子顕微鏡応用研究所(上級研究員)	永年会員推薦規約(1)

ひとみ じろう 人見 次郎	岩手医大・医・解剖学・人体発生学（教授）	永年会員推薦規約（1）
はた りゅうじ 秦 龍二	藤田医大・解剖1（教授）	永年会員推薦規約（1）
ふじた けいこ 藤田 恵子	埼玉医大・解剖学（教授）	永年会員推薦規約（1）

3. 申請による新代議員の件

資料に基づき、仲嶋常務理事より以下の4名が代議員として推薦され、承認された（五十音順、敬称略）。

氏名	所属等（申請時）	入会年	推薦代議員
かわしま ともかず 川島 友和	東邦大・医・解剖学・生体構造学（准教授）	2008	佐藤 二美
さかもと ひろたか 坂本 浩隆	岡山大・理・神経制御学・神経行動（教授）	2014	小澤 一史
なりた けいし 成田 啓之	岩手医大・医・解剖学・細胞生物学（准教授）	1998	齋野 朝幸
よこやま たくや 横山 拓矢	岩手大・農・獣医解剖学（准教授）	2006	山本 欣郎

4. 2023（令和5）年度事業および業務監査報告の件

①学術集会開催状況

資料に基づき、以下の学術集会の開催状況が報告された。

全国学術集会	会頭	開催期日	会場
第128回全国学術集会	大和田祐二(東北大・医・器官解剖学)	3月18日～20日	東北大学川内北キャンパス、仙台国際センター

支部学術集会	大会長	開催期日	会場
第69回東北・北海道支部連合	上条桂樹（東北医薬大・解剖学）	9月2日～3日	東北医科薬科大学福室キャンパス
第111回関東支部	竹林浩秀（新潟大・医・脳機能形態学）	9月3日	新潟大学
第83回中部支部	内藤宗和（愛知医大・解剖学）	10月7日～8日	愛知医科大学
第99回近畿支部	中務真人（京都大・理・自然人類学）	11月18日	京都大学理学研究科セミナーハウス
第77回中国・四国支部	海藤俊行（鳥取大・医・解剖学）	10月14日～15日	鳥取大学米子キャンパス
第79回九州支部	東華岳（産業医大・解剖1）	11月11日	産業医科大学

②会議開催状況

資料に基づき、以下の会議の開催状況が報告された。

会議名	開催期日	会場	会議名	開催期日	会場
常務理事会			理事会		
第1回	1月21日	A P 新橋	第1回	1月21日	A P 新橋
第2回	3月17日	東北大学川内北キャンパス	第2回	3月17日	東北大学川内北キャンパス
第3回	3月18日	東北大学川内北キャンパス	第3回	3月18日	東北大学川内北キャンパス
第4回	6月24日	口腔保健協会	第4回	3月18日	東北大学川内北キャンパス
第5回	9月16日	口腔保健協会	第5回	12月16日	A P 新橋
第6回	12月16日	A P 新橋			
定時社員総会	3月18日	東北大学川内北キャンパス			

③学会誌の刊行状況

1) 編集委員会（解剖学雑誌）

予定通り以下のごとく刊行されたことが報告された。

a)掲載論文数内訳

巻号	特集	寄書	新任教授紹介	追悼文	奨励賞受賞者紹介	その他	計
98巻1号	10	0	0	2	0	0	22
98巻2号	12	1	11	1	0	0	25

b)頁数総計

巻号	特集	寄書	新任教授紹介	追悼文	奨励賞受賞者紹介	その他	計
98巻1号	36	0	0	2	0	0	38
98巻2号	38	2	11	1	0	0	52

※支部学術集会抄録の掲載は学会ホームページに移行済み。

※その他：巻頭言

2) ASI編集委員会

2023年度の出版は98巻第1号から98巻第4号までの4冊 [4冊]、頁数：617頁 [431頁]、論文数：60 [46]であったことが報告された。

内訳は下表, [] 内は前年値) [2024年の1月15日までの予定はJanuary issue 合計15編、150ページ]

出版した論文数（カテゴリー毎）								
	Editorial	Commentary	Review article	Original article	Case report	Method paper	Letter to the Editor	計
98-1	0	0	2	11	2	1	0	16
98-2	0	0	0	13	0	0	0	13
98-3	1	1	7	6	0	1	0	16
98-4	1	0	1	11	2	0	0	15

④委員会報告

社員総会資料に基づき、委員会活動が報告された。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1)認定解剖組織技術者資格審査委員会 | 7)アウトリーチ委員会 |
| 2)解剖体委員会 | 8)学術委員会 |
| 3)解剖学用語委員会 | 9)医療専門職教育委員会 |
| 4)海外交流委員会 | 10)倫理・利益相反委員会 |
| 5)教育委員会 | 11)ダイバーシティ推進委員会 |
| 6)若手育成委員会 | 12)若手研究者の会 |

⑤ 研究の奨励及び業績の奨励

資料に基づき、以下の2023（令和5）年度日本解剖学会奨励賞候補者（3名）が報告され、了承された。また、日本解剖学会認定技術者功労賞候補者の該当者はいなかった。

2023（令和5）年度日本解剖学会奨励賞受賞者

氏名	申請課題	該当分野	所属
小池 太郎	末梢感覚神経系の機能実現・維持に関するグリア細胞の形態学的解析	組織学	関西医大・解剖学
永井 裕崇	環境要因による脳組織恒常性破綻の微細組織学的機序解明	神経解剖学	神戸大・医・薬理学
横田(新倉)睦美	レポーターiPS細胞を用いた神経細胞サブタイプ特異的なミトコンドリアの機能・形態学的研究	細胞生物学	順天堂大・医・神経機能構造学

2023(令和5)年度日本解剖学会認定技術者功労賞受賞者

氏名	所属
	該当者なし

⑥ 内外学術団体との協力ならびに連絡

資料に基づき、下記の後援・協賛を行っていることが報告され、了承された。

後援	<ul style="list-style-type: none"> ・第42回名古屋大学人体解剖トレーニングセミナー ・第13回形態科学シンポジウム
協賛	<ul style="list-style-type: none"> ・日本顕微鏡学会第79回学術講演会 ・3次元画像コンファレンス2023 ・第33回電顕サマースクール
連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・生物科学学会連合、日本脳科学関連学会連合、及び、男女共同参画学協会連絡における活動協力(意見交換、声明発表、機構強化について) ・基礎医学系学会(生理学会、薬理学会)、日本顕微鏡学会との意見交流、声明発表 ・日本外科学会CST推進委員会における活動協力(委員派遣等) ・日本医学会、日本医学会連合における活動協力 ・KAA (The Korean Association of Anatomists) との学術交流 ・APICA (Asian Pacific International Congress of Anatomists) との交流 第10回APICA開催(2023年)に向けての調整と協力 ・欧米解剖学会との交流 アメリカ解剖学会とはAPICAの枠組みの中で行う。Anatomische Gesellschaft との交流は継続

⑦ 技術者認定

資料に基づき、下記の1, 2級技術者合格者が報告され、了承された。

1級技術者合格者

氏名	所属	種別
有村 和人	愛知医大・解剖学	解剖
窪 和寛	福岡歯大・教育研究等支援係	解剖
中田 貴之	金沢医大・アナトミーセンター	解剖

2級技術者合格者

氏名	所属	種別
小杉 真登	日本歯大・新潟生命歯・解剖1	解剖
浅野 文子	名古屋大・医・機能組織学	解剖・細胞組織
福田 京祐	群馬大・医・機能形態学	解剖
尾之内高慶	藤田医大・オープンファシリティセンター	細胞組織
陶山 愛美	東北医薬大・解剖学	解剖・細胞組織
小酒井 友	東北医薬大・解剖学	解剖・細胞組織
平田 潤	山梨大・医・細胞生物学	解剖

5. 2023(令和5)年度決算および会計監査報告の件

資料に基づき、尾崎常務理事より令和5年度決算について報告された。また、2024(令和6)年2月1日に行われた独立監査人による財務諸表等に対する監査報告書と第11期事業年度における会計及び事業の実施状況の監査報告書内容が渡辺監事より報告された。審議の結果、承認された。また同時に、監事から、学会の保有する資産の会員への還元やインボイス制度に関する継続的な情報収集に関して提言があったことが報

告された。

6. 2024(令和6)年度予算および事業計画の件

資料に基づき、仲嶋常務理事より、学術集会開催予定、学術誌刊行予定、広報活動、国際連携等を含む、令和6年度事業計画が説明された。また、尾崎常務理事より、受取会費および学術集会関連収入と支出の変動、役員交代年による会議費の増加を含め、令和6年度予算案について報告された。審議の結果、承認された。

7. 2025(令和7)年度予算執行の件

資料に基づき、2025(令和7)年1月から3月までの予算執行の決定に関する理事会への一任について提案され、承認された。

8. 第132回(2027(令和9)年度)総会・全国学術集会開催担当校の件

第132回総会・全国学術集会担当校に岡山大学、会頭に組織細胞学分野の大内淑代氏が推薦され、承認された。

9. 役員選出会則の一部改正について

第8条の時限特別措置について男女共同参画推進の見地から3期6年間、期間延長することが提案され、承認された。

10. その他

特になし。

V.第130回(2025(令和7)年度)日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

資料に基づき、渡辺雅彦次期会頭(北海道大)より大会テーマ(「協奏の未来へ～生命を操る・解く・護る～」)、大会期間(2025(令和7)年3月17日～19日)、開催会場(幕張メッセ)、生理学会・薬理学会との共催であることなどの準備状況が報告された。

閉会の辞

議長(高山千利氏)より、閉会の辞が述べられた。